

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の実施状況及び効果検証報告

Ⅲ 経済活動の回復 ～地域経済を立て直す～

単位：円

担当課	事業名	事業目的	事業実績と成果	総事業費	
					交付金充当額
観光・飲食業等に対する支援					
商工観光課	安全・安心な市内周遊消費喚起促進事業	コロナの影響で打撃を受けた市内事業者の経営再建のため、宿泊施設の新型コロナウイルス感染症抑止対策や、事業環境の変化に対応するための助言等、専門家による継続的なサポート及びキャッシュバックによる消費喚起を行い、地域経済の活性化を図る。	対象宿泊施設の利用者に対するキャッシュバックキャンペーンを行い、割引総額6,535,237円の利用を得た。併せて、この利用者が飲食店等の登録店舗を利用した際のキャッシュバックを行い、割引総額644,000円の利用を得た。さらに、市の魅力をPRする観光パンフレットを作成し、大阪府の宿泊施設等で配布する等の誘客を促したことで、観光関連事業者支援につながった。	13,315,025	13,315,000
商工観光課	さきめしいこまプレミアムキャンペーン	新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、売り上げが減少する等の影響を受けている生駒市内の中小企業者または小規模企業者のうち、飲食店、小売業、理美容業などの事業者への支援として、「さきめしいこま+」のプラットフォームを活用し、利用者が購入した代金に市が30%のプレミアムを上乗せすることにより消費喚起を行い市内事業所を応援する。	「さきめしいこまプレミアムキャンペーン」を実施し、市内193店舗の参加があった。これによって、2.5億円以上の経済効果を上げることができた。	75,368,475	73,786,000
商工観光課	営業時間短縮協力支援事業	午後8時までの営業時間短縮要請に協力いただいた市内飲食店に協力支援金を支給する。	5月1日から6月20日までの間、営業時間の短縮に応じた事業者に対して、合計639件の支払いを行った。これにより、新型コロナウイルス感染症対策への対応に係る負担を軽減し、生駒市内の飲食店を応援することにつながった。	314,948,160	108,988,000
活力ある地方創り					
商工観光課	ソーシャル×マイクロアントレプレナー事業	コロナによる影響を受けた地域経済の活性化を図るため、本市で新規創業、第二創業、副業を起こす市外事業者を募集し育成する。募集は説明会と広告を中心に行い、育成は事業者に対し知識の習得と実践の支援を行う。	市内で創業を目指す19名の受講者に対し、交流会・伴走支援を通して起業希望者・起業者間のマッチング機会を創出した。その結果、5名の創業支援を実現することができた。	3,018,160	3,017,000
商工観光課	新型コロナウイルス対策モデル事業補助金	市内の中小事業者が、新型コロナウイルス感染症による経済的影響を乗り越えるために実施した新たなビジネスやサービス、生産プロセスの導入等について事例募集を行い、事業内容が他事業者へのモデル的な取り組みについて事例集を作成する。	ポストコロナに向けた市内中小事業者の取り組みについて事例集を作成する予定だったが、営業時間短縮協力支援事業に専念するため実施できなかった。	0	0
商工観光課	チャレンジ生駒みらい資金事業	コロナ禍にあって、新たな事業展開にチャレンジする事業者へ支援し、ポストコロナの経営革新、地域課題の解決やまちの活性化につなげる。	新たな事業展開にチャレンジする47社の事業者に支援金を交付することができた。これにより、ポストコロナに向けた経営革新や地域課題の解決、まちの活性化につなげることができた。	20,333,000	20,333,000

※担当課は令和5年3月1日時点を表示しています。